

上海京劇院

梅蘭芳と並び称せられる名優周信芳を初代院長として、上海京劇院は1955年の創立以来、伝統をふまえつつも常に新しいものに挑戦する精神を持ち、活力に満ちた独特の風格を作り上げてきました。国内外の公演活動も非常に盛んで、高い評価を得ています。

構成・津田忠彦

第1部

京劇の魅力を圧縮した情感溢れる隈取り役の至芸！



極限まで計算し尽くされた迫真の立ち回り！



鍾馗嫁妹 (しょうきかまい)

鍾馗(しょうき)は役人の登用試験に首席で合格したが、醜さゆえに天子に疎んじられて憤死する。天上で厄除けの神となった鍾馗は、親友・杜平(とへい)とのある約束を果たそうと、お供の小鬼達を従えて人間界へと降りてきた。

三岔口 (さんちゃこう)

護送される兄貴分・焦贛(しょうざん)のあとを追う任堂恵(にんどうけい)は、三岔路にある宿屋に行方を問うが、宿の主人・劉利華(りゅうりか)は知らないと言い張る。お互いの挙動を怪しみ、深夜真つ暗間の室内で、二人の男は死闘を繰り広げる。

第2部

緊迫感溢れる華麗にして峻烈な所作の極致！



昭君出塞 (しょうくんしゅっさい)

漢の宮女・王昭君(おうしょうくん)は長安の都を離れ辺境へと旅立つ。宮廷画家の謀略にかかって、匈奴の王に嫁ぐことになったのだ。琵琶を抱き、空をゆく雁に皇帝への思いを託しつつ、険しい山道をあばれ馬に乗って国境までやってくる。後ろを振り返れば懐かしい故郷は遥か遠く、前方には出迎えの異国の兵士たち——昭君は新しい運命に向かって歩き出す。



史敏(シーミン)

“色彩の旋風”と呼ばれ、その類希な美貌と抜群の運動能力で武旦としてデビューしたのが10年前。初めて京劇を見る日本の若者たちをたちまちの内に虜にした。以来、来日公演は5回を数える。その度に史敏ファンは増え続けたが、1996年に優秀若手俳優20人に選ばれて、北京の中国戯曲学院で三年間の研修を経ての5年ぶりの来日である。若くして「梅花賞」を受賞し、史上最年少の国家一级俳優にも推された。

名優梅蘭芳の流派の歌唱をもマスターして円熟味を加え、今や京劇界のトップ女優の雰囲気を持っている。昨年の秋にはNHK交響楽団の招きに応じて、オーケストラをバックに“虞美人”を演じて喝采を浴びた。

Shan Jing Yuan
n g o g e k i